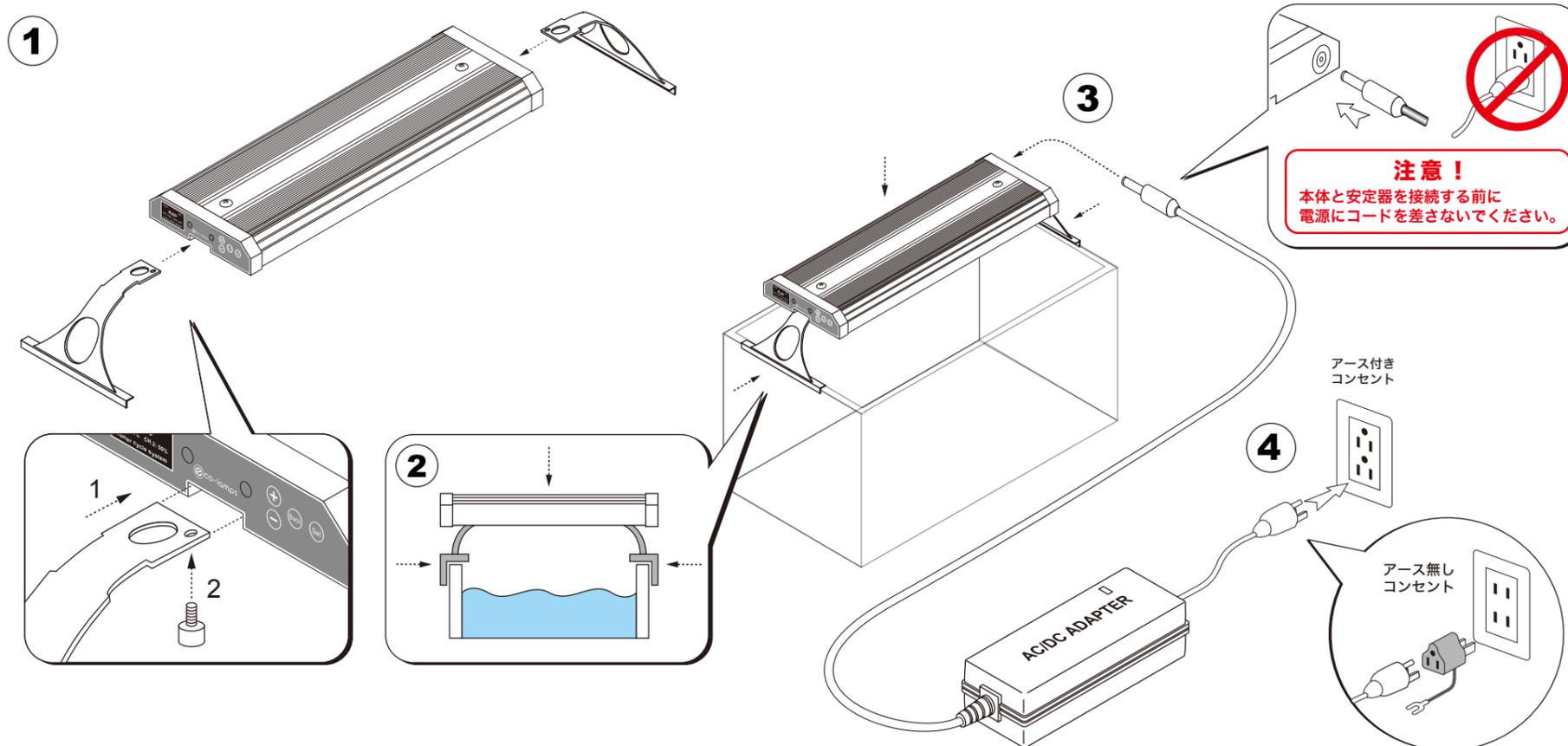
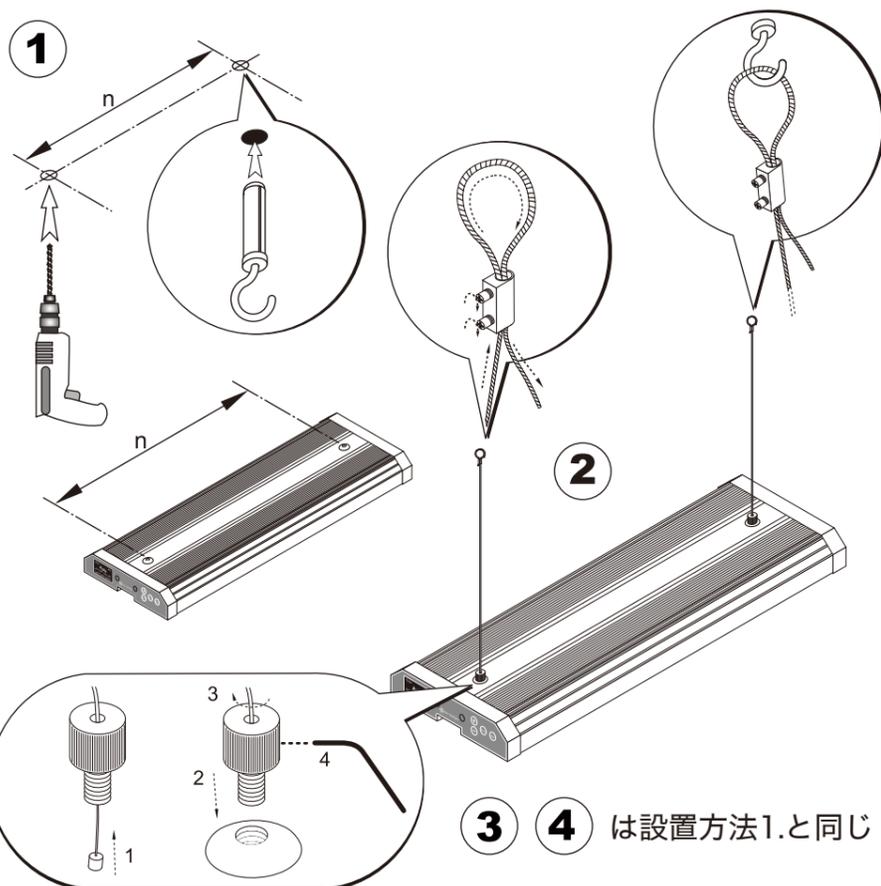


設置方法1. タンクブラケットを用いて水槽へ設置する場合



設置方法2. ワイヤーを用いて天井から吊り下げる場合



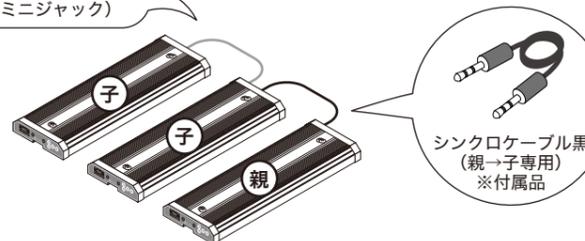
コントロール

1 Neptune AquaController または GHL ProfiiLux Controller にて制御が可能です。



2 KR本体を複数台接続してシンクロ制御することが可能です。

市販のオーディオステレオケーブル (3.5mmステレオミニジャック)



KR本体を複数台接続する場合、任意の1台を親機として動作させ、残りをすべて「Slave」(子機)に設定しておくことで、親機の設定に連動して子機が制御されます。
親機と子機の接続には付属のシンクロケーブル(親→子専用)を使用します。
子機から子機への接続には、市販のオーディオステレオケーブルが利用できます。

親機/子機 設定方法
"+/-" ボタンで「Slave」に切り替えると、子機として待機状態になります。



KRガイド日本語版

KR90 Series

KR90 / KR90DR / KR90FW
(2018/2以降のロット対象)



ISO 14001:2004
EMS 554643

製品特徴

- ・ 水温を上昇させないため、クーラーの負担を減らし、クーラーの稼働率を低減します。
- ・ 従来の水槽用照明であるメタハラや蛍光灯の代替として使用できます。メタハラをLEDに代えることで、電気代が大幅に節約できます。
- ・ 設置に必要な部品が同梱されているため、すぐに簡単に設置することができます。
- ・ スペクトル重視モデルでは、自然下の水中スペクトルを再現するよう設計され、生体の光合成色素や蛍光タンパクの生育に必要な波長を、バランスよく配合しています。

使用上の注意

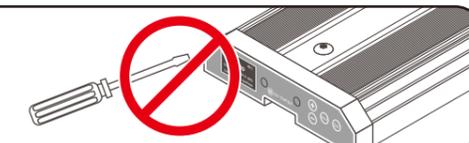
- ・ コードが設置する国の条件を満たしていることを確認してください。
- ・ 製品はコンセントの側に設置し、容易にコードが抜けるようにしてください
- ・ コードを破損したり、擦り切れないように注意してください。
- ・ 暖房器具の近くに設置しないでください。
- ・ 製品の操作性を確保するためワイヤーを延長しないでください。
- ・ 直射日光や高熱にさらさないでください。

警告

- ・ 製品を掃除するときは、感電を防ぐため、コードを電源から抜いていることを確認してください。
- ・ 感電を防ぐために、濡れた手でコードを触らないでください。
- ・ 断線を防ぐために、コードをひっぱらないでください。

注意

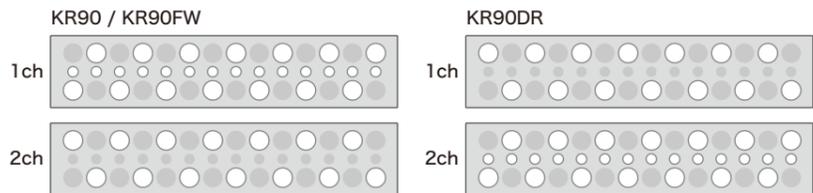
自分で修理しないでください。
保証が無効になります。



ユーザーガイド

KR90/KR90DR/KR90FW
(2018/2以降のロット対象)

■チャンネルとLED配列



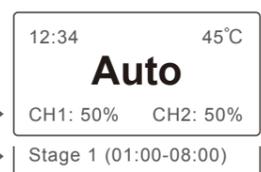
■コントロールパネル



1. ボタン

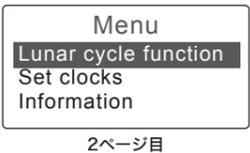
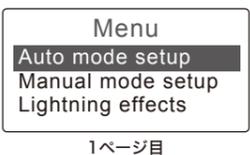
- +** **-** モードの選択や数値を増減させるときに使用します。
- Back** 前の画面に戻る時に使用します。
- Set** 設定の開始や値を確定する時に使用します。

2. モード 通常画面で **+** **-** ボタンを操作すると4つの点灯モードが切り替わります



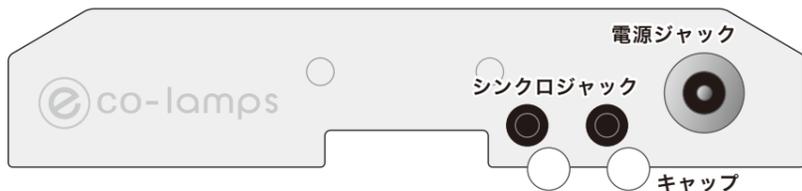
- Auto** 7ステージ調光タイマーによる自動運転
- Manual** 1chと2chに手動による調光を設定します
- Demo** 店頭展示向けのデモ運転モードです
- Thunder** 全LEDを点滅させて擬似的な雷を作ります
- OFF** 点灯動作を停止します
- Slave** シンクロモードの子機として動作します

3. メニュー 通常画面で **Set** ボタンを押すとメニューリストが表示されます **+** **-** ボタンを操作すると8つのメニュー(2ページ分)が表示されます



- Auto mode setup** オートモード設定
- Manual mode setup** マニュアルモード設定
- Lightning effects** 雷効果設定 (オートモード時のみ)
- Lunar cycle function** 月齢周期設定
- Set clocks** 時計合わせ
- Information** オートモード設定リセットバージョン表示

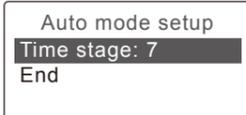
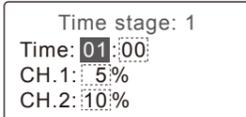
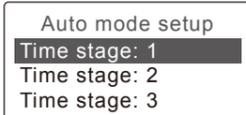
■背面



シンクロ機能をご使用になるには、本体背面のシンクロジャックのキャップを外し、付属のシンクロケーブルを用いてKR本体同士を接続してください。

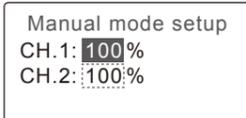
※シンクロジャックは本体背面に2つあります ※シンクロジャックは左右共に共通です
※子機同士の接続には市販のオーディオケーブルをご使用ください

■ "Auto mode setup" オートモード 設定方法



- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Auto mode setup** を選択し、**Set** ボタンを押してオートモードの設定編集を開始します。
- Time stage: 1** を選択し **Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンでステージ1の開始時間の時と分を設定して **Set** ボタンを押します。
続いて **CH.1** と **CH.2** の光量を0-100%の範囲で **+** **-** ボタンで決定して **Set** ボタンを押します。
- 残りのステージ **Time stage: 2** ~ **Time stage: 7** についても同様に設定します。
- 最後に **End** (ステージ7の終了時間)を設定します。
- すべての設定が終わったら最後に **Back** ボタンを2回押して通常画面に戻れば設定は完了です。

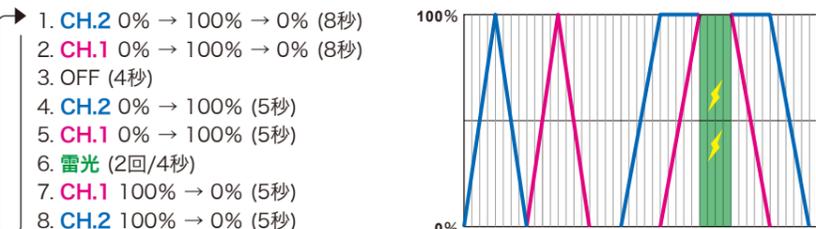
■ "Manual mode setup" マニュアルモード 設定方法



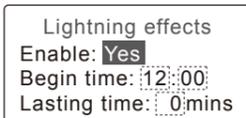
- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Manual mode setup** を選択し、**Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンで **CH.1** と **CH.2** の光量を0-100%の範囲で決定して **Set** ボタンを押します。

3) 設定が終わったら最後に **Back** ボタンを押して通常画面に戻れば設定は完了です。

■ "Demo mode" デモ運転モード プログラム

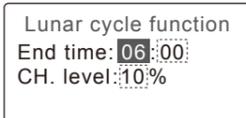
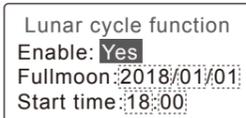


■ "Lightning effects" 雷効果 設定方法



- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Lightning effects** を選択し、**Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンで **Yes** を選択し **Set** ボタンを押します。
※雷効果を停止するには **NO** を選択します → 4)へ
- +** **-** ボタンで **Begin time** (開始時間)の時と分を設定して **Set** ボタンを押します。
+ **-** ボタンで **Lasting time** (継続時間)を設定して **Set** ボタンを押します。
- 設定が終わったら最後に **Back** ボタンを押して通常画面に戻れば設定は完了です。

■ "Lunar cycle function" 月齢周期 設定方法



- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Lunar cycle function** を選択し、**Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンで **Yes** を選択し **Set** ボタンを押します。
※ **Set** ボタンを押す毎に項目が移動していきます
※月齢周期を停止するには **NO** を選択します
※残りの項目についても同様に設定します。
Fullmoon : 満月日(自由) **Start time** : 開始時間
End time : 終了時間 **CH. level** : 発光強度

3) 設定が終わったら最後に **Back** ボタンを押して通常画面に戻れば設定は完了です。

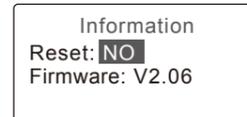
※CH. levelに対して新月0%~満月100%が乗算されるため、計算結果が1%以下の時は点灯しません (メモ参照)

■ "Set clocks" 時計合わせ 設定方法



- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Set clocks** を選択し、**Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンで **Date** (日付)を日/月/年の順で設定して **Set** ボタンで決定します。
- +** **-** ボタンで **Time** (時間)の時と分を設定して **Set** ボタンで決定します。
- 設定が終わったら最後に **Back** ボタンを押して通常画面に戻れば設定は完了です。

■ "Information" オートモード設定リセット/バージョン表示 設定方法



- Set** ボタンを押してメニューリストを呼び出し、**Information** を選択し、**Set** ボタンを押します。
- +** **-** ボタンで **Yes** を選択して **Set** ボタンを押すとオートモードの設定内容が工場出荷時に戻ります。
- 設定が終わったら最後に **Back** ボタンを押して通常画面に戻れば設定は完了です。

オートモード設定 (工場出荷時)			
タイムステージ	開始時間	CH.1 %	CH.2 %
Time Stage: 1	00:00	04	02
Time Stage: 2	06:00	20	10
Time Stage: 3	08:00	60	40
Time Stage: 4	10:00	100	80
Time Stage: 5	14:00	80	80
Time Stage: 6	16:00	40	60
Time Stage: 7	18:00	04	02
End	00:00		

雷設定 (工場出荷時)	
Enable	NO
Begin time	12:00
Lasting time	0 mins

月齢周期設定 (工場出荷時)	
Enable	NO
Fullmoon	2015/08/05
Start time	18:00
End time	06:00
CH. level	100%

メモ

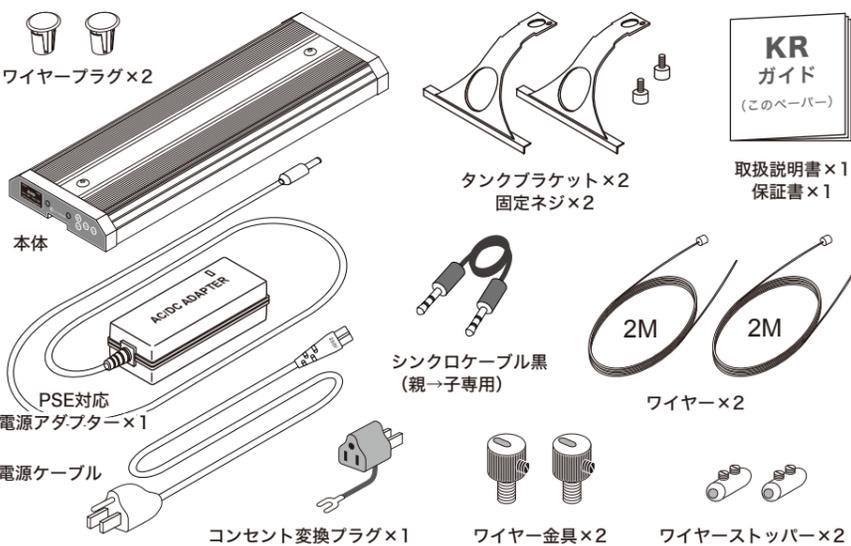
タイマーの切り替わり時は、徐々に明るさに変化して設定条件の明るさになりますので、設定した明るさに達するまでに数秒~数分程度かかる場合があります。

設定間違いの例 "Time Stage 1" の開始時間を7:00にし、"Time Stage 2"の開始時間を6:00にし、"Time Stage 3"の開始時間を9:00に設定すると"Time Stage 2"は行われません。"Time Stage 2"の設定時間を"Time Stage 1"と"Time Stage 3"の間にしてください。

月齢周期設定の注意事項 ※以下のような計算結果の際には点灯しません

- Lunar = 月齢調光設定 100% × 新月 0% = 0%
- Lunar = 月齢調光設定 20% × 近新月 4% = 0.8% (1%未満になるため点灯)
- Lunar = 月齢調光設定 80% × 近新月 1% = 0.8% (1%未満になるため点灯)
- Lunar = 月齢調光設定 2% × 近半月 49% = 0.98% (1%未満になるため点灯)
- Lunar = 月齢調光設定 3% × 近半月 33% = 0.99% (1%未満になるため点灯)
- 月齢調光設定を1%以下に設定した場合 (月齢計算結果が誤差により全て1%未満になるため全日点灯)

付属品



※ワイヤーストッパーとワイヤー金具の固定には精密ドライバーのマイナス(-)が必要